

CNC工具研削盤で
世界の最先端を走る
研削盤メーカー

株式会社 小林機械 製作所

三重県
四日市市八王子町2435

1947年(昭和22年)設立
TEL 059-321-2121

<http://www.koba-ks.co.jp/>



代表取締役
森 十九男

CNC工具研削盤の開発では常に先鞭をつけており、特に極小径工具の研削盤では世界の最先端を走り、世界初の「CNC複合工具研削盤」を開発。

「いいものを創れ」がモットー

「いいものを創れ」が創業以来の社訓であり、その精神は脈々と引継がれている。同社はユーザーの要求に見合った機械を設計製作するため、様々なノウハウを蓄積し、ユーザーのハイレベルな要求に対応している。創業以来の、新しい技術・ノウハウを積極的に開発し、吸収していく社風により培った技術力は世界初の「CNC複合工具研削盤」をはじめとした、世界初の商品を生み出す原動力となっている。

モノ作りを支えるCNC工具研削盤

高精度な機械部品の加工には、高精度の工具が不可欠。日本のモノ作りが世界一といわれるのは、日本の切削工具が世界で最も性能・精度が高いという背景がある。切削工具メーカーで使われる多種多様な工具を造るための機械（CNC工具研削盤）メーカーとして世界に名を馳せている。特に極小径工具の研削盤では世界トップメーカー（シェア50%）の揺るぎない地位を築いている。

市場は世界

同社が開発・製造するCNC工具研削盤が世界の工具メーカーから認められ、アメリカ・ヨーロッパ・韓国・中国・台湾からの受注が好調で、売上高に占める輸出比率は50%を超える迄に成長。同社は今後の需要拡大に備え、高精度化と高能率化を狙い、加工工程の集約化を図ったCNC複合工具研削盤「SPM-2000シリーズ」や「UCM-2000シリーズ」を開発し、世界の需要に対応している。



SPM-2006



UCM-2002